

議案第 19 号

小田原市火災予防条例及び小田原市火入れに関する条例の一部を改正する条例

(小田原市火災予防条例の一部改正)

第 1 条 小田原市火災予防条例（昭和 37 年小田原市条例第 29 号）の一部を次のように改正する。

目次中「第 3 章の 2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等（第 29 条の 2～第 29 条の 7）」を
「第 3 章の 2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準
第 3 章の 3 林野火災の予防（第 29 条の 8・第 29 条の 9）
等（第 29 条の 2～第 29 条の 7）」に改める。

第 29 条中「警報」の次に「（法第 22 条第 3 項に規定する火災に関する警報をいう。以下同じ。）」を加え、第 7 号を削る。

第 3 章の 2 の次に次の 1 章を加える。

第 3 章の 3 林野火災の予防

(林野火災に関する注意報)

第 29 条の 8 市長は、気象の状況が山林、原野等における火災（以下「林野火災」という。）の予防上注意を要すると認めるときは、林野火災に関する注意報を発することができる。

2 前項の規定による注意報が発せられたときは、注意報が解除されるまでの間、市の区域内に在る者は、第 29 条各号に定める火の使用の制限に従うよう努めなければならない。

3 市長は、林野火災の発生の危険性を勘案して、前項の規定による火の使用の制限の努力義務の対象となる区域を指定することができる。

(林野火災の予防を目的とした火災に関する警報の発令中における火の使用の制限)

第 29 条の 9 市長は、林野火災の予防を目的として火災に関する警報を発したときは、林野火災の発生の危険性を勘案して、第 29 条各号に定める火の使用の制限の対象となる区域を指定することができる。

第 42 条の 3 第 1 項第 3 号中「第 45 条」を「第 45 条第 1 項」に改める。

第45条第1号中「行為」の次に「（たき火を含む。）」を加え、同条に次の1項を加える。

2 消防長は、前項各号に掲げるそれぞれの行為について、届出の対象となる期間及び区域を指定することができる。

（小田原市火入れに関する条例の一部改正）

第2条 小田原市火入れに関する条例（昭和59年小田原市条例第38号）の一部を次のように改正する。

第13条中「異常乾燥注意報又は火災警報が発令された」を「乾燥注意報、火災に関する警報又は林野火災に関する注意報が発せられた」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

令和 8 年 2 月 1 6 日提出

小田原市長 加 藤 憲 一

（理由）

近年の大規模な林野火災の発生状況を踏まえ、その予防の実行性を高める観点から林野火災に関する注意報を発することができることとする等のため提案するものであります。